新京日日新聞
夕刊 六月九日
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二三五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

「和平か？實力行使か？」十一日が分岐點

北支問題の解決 出先軍部に一任

關東軍、支那駐屯軍の準備なる 支那軍また着々準備

（東京國通）陸軍中央部は六日の重大訓令に依り北支紛糾解決一切を出先軍部に一任しこゝ數日間の事態の推移を凝視せんとの態度を持してゐるが、十一日即ち我が最後通牒の期限頃が和平か實力行使かの分岐點となるものと見て關東軍、支那駐屯軍はじめ出先軍部に夫々萬全の措置を命じてゐる

國民政府遂に日本の要求全部應諾 北支問題一段落か

（上海發國通）國民政府は八日緊急會議の結果遂に我要求を全部應諾するに決した、黄郛氏も近く北上する豫定なので北支問題は多分之で一段落するものと觀られるが、一部には中央軍撤退に際して事件が勃發する危險性が多分にあるから之を以て北支問題落着と見るは尙早であるとの意見も行はれてゐる

未だ報告はない ―關東軍當局非公式に語る―

國民政府が八日緊急會議の結果我要求の全部を應諾するに決した旨の上海電報を齎らして關東軍當局を訪へば「當方には未だそのやうな報告は來て居ない」と全く氣にもしてゐない樣子を以て答へ且つ非公式に次の如く語つた

假令我要求全部を應諾したとしてもそれが例の一時逃れの糊塗手段なら何にもならないではないか、要は實行にある、又その實行も形式的にやるのと眞に誠意を以てやるのとは自ら雲泥の相異があり我方で要求してゐるのは勿論その眞に誠意を以てする恒久施設の方だ要するに問題は目の先一時のものではないことを充分知つて置いてもらひ度い

失地回復の精神を根本的に改めさす 聞かねば南京政府も崩壞

日滿支關係の正常化と東洋平和の確立を企圖し終始正々堂々たる態度を持して北支問題の解決に臨んで來た關東軍並に支那駐屯軍ではさきに支那側の停戰協定違反行爲に對し嚴重警告を發し北支紛糾の禍根を一掃することゝなつたがこれに對し支那側では既報の如く一部非行關係者の罷免と關係軍警の移駐をもつて事態を解決せんとするが如き曖昧なる態度に出で局地的解決をもつて終らんとしてゐるが關東軍では斯る南京政府の糊塗的態度にあきたらず南京政府の對日二重政策の撤廢と失地回復を企謀せる對滿攪亂行爲の徹底的掃蕩の實現を期してゐる、支那側の失地回復行爲は日滿支關係をます〳〵紛糾せしめ、延ては東洋平和を攪亂し永久に支那の建全なる發展を阻害するものであるとの建前から斷乎としてこの種非違行爲の一掃に向つて積極的態度に出ることゝなつてゐる若し支那側にして認識を誤り依然として失地回復を策謀するにおいては事態形勢は全く豫測を許さず南京政府の崩壞にまで波及するやも計り知れない

北支派遣部隊 門司出發

【門司國通】北支派遣部隊を乘せた御用船〇〇丸は七日午前十一時入港一夜を碇泊後市民の萬歲聲裡に午後六時一同〇〇〇へ向つた

磯谷少將等着平

【北平九日發國通】駐支大使館附武官磯谷少將は酒井天津軍參謀長、同大木參謀帶同、八日午後六時四十分着列車で日支官民多數の出迎裡に來平直ちに扶桑館に入つた

支那側 對日戰備を急ぐ

【天津國通】日本側の要求條項に對し支那側は依然として誠意を示さぬのみか對日戰備を急いでゐる模樣である、當地への情報に依れば蔣介石は杭州航空隊に對し爆彈の製造並に防空施設の準備を命令した、更に天津支那町にだて北平憲兵第三團より私服憲兵を多數動員し通行人の檢査を行ひ、反蔣運動防止に努め恰も戒嚴令下である、一般市場も恐慌狀態を來たし先物取引を中止して續々外國租界に避難してゐる

商震新警備司令官 離平天津に向ふ

【北平九日發國通】新任天津警備司令商震氏は八日午後一時居仁堂に何應欽氏を訪問、挨拶を述べ午後三時五分發列車で秘書劉蓮芳氏以下十數名を從へて天津に向つた

孫匪討伐の山田部隊 承德へ歸還

【承德國通】孫匪を毛山高地に包圍攻擊し匪首孫永勤以下同匪團を全滅せしめ華北の檜舞臺に於て赫々たる武勳を樹てた承德駐劄山田部隊主力は平泉經由自動車にて八日午前十一時堂々原隊に凱旋した、司令部前には〇〇〇部隊長、原口參謀長以下各幕僚や、留守部隊、在鄕軍人、國防婦人會外日滿官民多數出迎へ萬歲の歡呼裡に山田部隊長は離宮前に到着、直ちに〇〇〇部隊長に報告の後司令部より衛戍病院に部下の傷病兵を慰問した、九日は部隊最初の犧牲者稅所少佐以下十一烈士の慰靈祭が執行される筈である

列國も日本の警告に贊成

【天津八日發國通】時局逼迫と見て外人記者も續々司令部に詰めかけ、我軍の意向を打診してゐるが、英國が一時神經を尖らしたのみで、他國は何れも默視して居り、要求條項は廿一ヶ條の如きものと全然相違せる點を認識し、寧ろ日本の警告に贊成してゐる模樣である

ジョンソン米大使北平へ

【北平九日發國通】米國大使ジョンソン氏は九日午前十時廿四分着列車で來平、尙英國大使カドガン氏は來る十二日上海に赴く筈である

餘興も華やかに 大同公園開園 ―けふ開園式擧行さる―

大同公園開園式は明九日午前十時から同園中央廣場で鄭國都建設局長を始め日滿要人列席の下に左の如く擧行された

一、開會の辭 鄭局長
二、工事報告 結城處長
三、來賓祝辭 韓市長
四、閉會の辭 近藤處長

なほ式後祝宴にうつり、餘興として日滿藝妓の手踊り、女給連のレヴュー等行はれるた
同公園は工事豫算約十五萬圓で大同二年三月起工、現在八割完成されたが、本年末までには竣工の豫定で完成の曉は總面積三十一萬余平方キロ、西公園の約一倍半の近代的公園が國都の中心に出現することとなつた

衆議院視察團

衆議院滿洲派遣團長宮脇長吉氏以下一行十五名は栗屋滿鐵審査役の案內で十四日奉天から來京、同日哈爾賓へ出發十八日再び引返し同日吉林圖們を經て京城に向ふはず

見學演習の 爆擊及空中戰鬪情況

見學演習爆擊及空中戰鬪の情況

甲乙兩國の國交は遂に斷絕した、戰は先づ空中から開始された、乙軍は敵の重要な都市施設等を又甲軍は新京、奉天、大連、大鐵橋等を第一の目標として爆擊につとめる

甲國の中心都市新京を爆擊せんとする敵軍は編隊〇〇を作て集結して飛んで來た、かくて敵は一度に多くの爆彈を投下することになる

此の爆擊の編隊は敵地深く入る關係上敵の戰鬪機から攻擊を受ける恐れあるため甲國も戰鬪機に依り掩護する必要があるので飛行時間が許せば戰鬪機が爆擊機の左右或は前後上空に同行して掩護するのが一番安全である

北方より飛來する〇型飛行編隊が重爆擊機で今回は五十キロ爆彈を各機に約五發宛中型大の飛行編隊は輕爆擊機で十五キロの爆彈を各機各々約五發宛積んでゐる

此の五十キロ爆彈は諸施設等相當堅固なものを破壞する爲に彈着後若干時を經て破裂し十五キロ彈は人馬を殺傷する爲に用ひるので彈着するや否や直ちに破裂し其破片は多く且遠くに飛散する

扨て其爆彈投下の方法は各機共積んで居る爆彈を皆同時に投下ずる方法もあれば十分ノ一秒或は二分ノ一秒とか云ふ間隔を置いて投下することも出來る、十分ノ一秒二分ノ一秒といふ時間は極少の時間であるが、飛行機の速度は一秒に四〇米も五〇米も飛行するから落下した爆彈の距離は五米乃至二五米位になるわけで尙それより多くすることが出來るから積んで居る彈が多ければ相當廣い地域に彈がばらまかれる譯である

一番小さくて澤山集結して居る飛行機は戰鬪機であつて爆擊機を掩護するのである

そこで甲軍もサルモノで爆擊機が來ると知れば直ちに戰鬪機を飛ばして之を擊滅することに努める

飛行機の尾部に小吹流の付いて居るのがそれである

實戰なれば掩護する市街より更に前方で敵を捕捉して擊ち落すのであるが見學の關係上飛行機の上空でそれを實施するのである

乙軍は爆彈を落す、甲軍は之を妨害すると云ふので壯烈な空中戰鬪が始まる

此空中戰にも色々と掛引があつて敵より高度を多くとり敵の弱點につけ入るのが其勝敗を決する基でありますから兩軍共にお互に秘術を盡して鎬を削るのである、或は高く或は低く又は右に見せて左に出る等混戰亂鬪の場面が華々しく展開せらる

燈火管制下に 車馬の通行も禁止

十一日夜行はれる管制豫行並に十二日夜の約卅分間に亘り行はれる燈火管制に際しては自動車、車馬の交通を停止する事となつて居るが、演習統監部の自動車のみは白色圓形のマークをつけて行動するものである、然し乍ら例外として出産、急病等が起つた場合は最寄の警官、憲兵同乘交通を許可される事になつて居る

雨天の際は 見學演習取止め

十日行はれる防空演習見學演習擧行は雨天の際は取止めとなるが、右取止めの合圖としては午前七時長音一聲の警報が鳴らされる

各鐵路一齊に けふ燈火管制實施

果然色めく鐵道防衛本部

乙國敵機襲來に備ふべく鐵道防衛本部では午後七時に滿鐵社員の非常召集令狀（赤色四寸四方）を發し同三十分から警戒警報を打鳴らし各員警戒の任についたが

（敵情第二報）午後八時に〇〇〇北方地區で彼我一戰を交へ敵機は相當被害をうけたが數機は南方に逃走した模樣

同情報をうけた本部では八時二十五分時を移さず空襲警報を命じ一齊に新京驛構成を始め南滿、京圖、京濱、京大各鐵路沿線は燈火管制を實施する、警戒怠りなき甲國の警戒網を破つて新京驛上空に現はれた敵機は驛前廣場に一時性毒ガスを投下され防衛部員各員（驛各區、鐵路局及び建設局員）共同で防毒、消毒に努める、同時に鐵道建設局構內目がけて持久性ガスを投下しきます〳〵猛烈な空襲を行ひ九時三十分甲軍の航空隊の活動で乙國一機は燒却墜落一機は北方へ逃走し、こゝに漸く防護團は解散する

防護策戰を練る

鐵道防衛本部に達した今朝の情況によれば

一、本朝以來某地附近の飛行場は著しき活氣を呈してゐる

二、新京防衛司令官は乙國の飛行機侵入を豫期し新京地區の警戒警報を命ぜり

右警戒警報に接した鐵道防衛本部及び奉天鐵道事務所防衛支部では午前十時から線區司令部の久保田大尉の應援のもとに古川委員長、稻川防諜團長、金澤保安區長、大河內寺島係員以下驛、各區、鐵路局員の幹部二十數名はこれが防護策戰に色めき立つた

十二日演習見學 見學演習のマーク佩用

十二日午前十時から三十分間國都建設局を中心に行はれる大々的防空演習の特定見學者は外交部樓上から見學することとなつてゐるが、當日は十日の見學演習に佩用せるマークを使用されたいと

第十一回海軍 論功行賞發表

【東京國通】日支事變中滿洲上海其他各地に於て武勳をたてたる海軍將士第十一回の論功行賞は畏き邊りの御裁可を經て八日發表された今回の分は曩に發表されたる派遣艦船部隊殘余の軍人に對するもので主なるものは左の如くである

旭日中綬章 海軍大佐 大島乾四郎
旭日小綬章 海軍中佐 黑木剛一
同 少佐 石川淡
同 少佐 松本一郎
旭四 海軍特務大尉 八木勝治

平田少將以下 論功行賞

【東京國通】陸軍では海軍と同樣八日論功行賞を發表したが、今回の分は陸軍運輸部及び陸軍測量部の戰時關係者並に既に發令せられたる出征各部隊の保留者で、滿洲事件勃發當時の聯隊兵として偉勳があつた平田幸弘少將以下約三千五百名である

茂木副領事事件で 坂根總領事 懲戒委員會へ

【東京國通】外務省では茂木副領事事件により俄然暴露の在外公館の綱紀弛緩にいたく狼狽して、徹底的に會計事務肅正のため八日廣田外相は在外公館に訓電を發し、會計內容至急調査報告すべきを命令した、尙茂木副領事について警視廳の取調べを終り起訴決定次第直ちに本人を休職處分に付する外監督の責を負ふ可き坂根總領事に對して文官懲戒令により文官懲戒委員會の議に付し、譴責減俸免官等の適宜の處置をとる事になつた

謝大使のアグレマン 十日通達さる

初代駐日大使謝介石氏のアグレマンは八日午後廣田外相より南大使宛到着したが、滿洲國政府に對する通達は十日午前中に行はれる事となつた

臺灣中部に强震

【臺北國通】七日午前十時五十分頃中部臺灣に强震あり、臺中州大甲郡沙鹿庄最も被害甚だしく午後五時迄に判明せる被害左の如し

負傷五名、全壞家屋十五、半壞家屋四十四、大破二百十一、小破百六十

スパイ船長に 罰金二千圓

【臺北國通】スパイ船長として起訴されたオランダ汽船々長の控訴公判で中村檢察官は船長の擧は輕卒なるもスパイと斷定する確證なし、依つて船舶法による最高刑罰たる罰金二千圓を至當とすると檢事要求通り判決した

奉實對新京野球 あすに延期

奉天實業對新京野球戰は雨のため十日午後四時半からに變更された

人事往來

▲下村大佐（關東軍第一課長）八日午後歸京
▲大島大佐（駐滿海軍部參謀長）九日午前歸京
▲藤井信夫氏（大連會社員）八日午後來京ヤマトホテル投宿、九日午前發奉天へ
▲加藤俊一氏（外務省官吏）同
▲木村知彥氏（滿鐵社員）同
▲秋田豐作氏（鐵路總局員）同
▲大塚寅雄氏（航空少佐）同
▲神保成吉氏（遞信省技師）九日午前發ハルビンへ
▲鹿野豐一氏（大阪武田商會員）同
▲森本寬三郎氏（同重役）同
▲町田純作氏（大阪、日本セルロイド會社員）八日午後來京名古屋ホテル投宿
▲緒城鐵雄氏（同）同
▲高森安夫氏（大連札幌麥酒會社員）同

團体

▲靜岡縣淸水商業學生二十二名九日午後十時發南行
▲佐賀縣中等教育會學事視察團十七名九日午後七時二十五分引返來京常盤旅館投宿
▲福井市鮮滿實業視察團四十五名九日午後三時十分來京新京ホテル投宿
▲廣島商工會議所視察團九名九日午前九時二十分發ハルビンへ十日午後三時引返來京同八時發南行
▲山口縣々會議員十一名十日午前六時二十五分來京向陽ホテル投宿十一日午後二時五十分發吉林へ
▲靜岡縣濱松商業學生二十四名十日午前七時三十五分來京同九時二十分發ハルビンへ十一日午後七時二十五分引返來京常盤旅館投宿十二日午後八時發南行

けふ防空演習の序曲

"乙軍に宣戰を布告 直ちに準備をせよ"

午後一時佐野統監から命令

各防護團果然緊張

防空週間第三日—既に各防護分團では連日の猛訓練演習を全く終り防空は日滿一体から！と軍民一致、日滿一体の不可分精神を昂揚して新京を中心に近縣八縣に亘る大防空演習はいよ〳〵本格的綜合演習の序幕を切つた、九日午後一時新京防空演習統監部は新裝成つた憲兵隊新廳舍内に開設され統監佐野少將、幕僚長河邊中佐以下作戰指導、航空、通信、防空監視等十五班及び飛行隊、情況現示班、通信隊等の統監部々隊の編成は全く終り、統監部は防衛司令部を兼ねこゝに國都空の護りは磐石の固きに置かれたのである、統監部の編成終るや佐野統監は全員を統監部前に集合し一場の訓示をなし甲國部隊に別項の如き想定を提示するとゝもに命令を發しこゝに滿洲空の防空演習の火蓋は切られたのである

統監 佐野少將

國都を中心に近縣八縣に亘る滿洲國成立後最初の防空演習はいよ〳〵明後十一日の基本演習を以て華々しく開始されることとなつた、これより先き連日に亘る新京聯合防護團の各部分演習も昨八日を以て全部終了し今はただ演習開始を待つばかりとなつたが九日午後一時突如として新京防空演習統監佐野少將の名を以て地方側に對し左記命令が下され、聯合防空團本部を始め各防護團本部は頓に緊張した

命令

別冊想定（乙）及情況第一（乙）に基き別命を待つことなく六月十一日午前七時迄に準備を完了し午前八時より演習を開始すべし

新京防空演習統監 佐野少將

想定（乙）

地方側

一、甲國は賓綏線、賓洲線（含まず）以南の滿洲國を乙國は同線以北の大陸を領土とす

二、甲、乙兩國は某紛爭問題に關し兵勢に亘り外交工作を重ねたるも遂に空しく六月九日國交斷絶し同日互に宣戰を布告せり

三、新京は甲國の首都にして軍事、政治、經濟機構の中心たる最も重要なる都市とす

四、乙國の陸軍力は甲國と大差なきも航空勢力に於ては優勢なり

五、甲國最高統帥は事態の急迫に伴ひ着々作戰準備を整へ宣戰布告と同時に其陸軍主力を以て敵を求めて攻撃せしむると共に新京市及其他の要地の防衛を下令せり

情況第一（乙）

一、六月十日拂曉以來敵は新京、奉天、撫順等各主要都市に對し各數機の編隊を以て飛來し爆撃を實施したるも我には大なる損害なく却て我防空部隊の爲に撃墜せられたもの數機に及ぶ

二、我飛行隊は宣戰布告以來敵の主要地に對し數回の空襲を行ひ相當大なる效果を收めつつあり

三、新京市に於ける各防護機關は平素の綿密なる計畫に基き迅速なる準備を整へつつ逐次活動を開始しありしが十一日午前八時より完全なる活動をなし得る狀態にあり

統監部陣容なる

統監 佐野少將
幕僚長 河邊中佐
總務部兼作戰指導班 ○平田少佐、林少佐、小川少佐、松村大尉、菅波大尉、古屋少佐
航空班 ○古屋少佐、太田大尉
通信班 福榮中佐、○佐々木少佐、井上少佐、櫻井少佐、木原大尉、宮村大尉
防空監視指導班 田中中佐、小川少佐、浦山少佐、松村大尉、○古屋少佐
警報後燈火管制指導班 山瀨少佐、權藤少佐、梶大尉、○松村大尉、原大尉、渡邊大尉、久保田大尉
警備防護指導班 洪中佐、山内少佐、大澤少佐、○陶村少佐、島津軍醫正、菅波大尉、小田島少佐、闕大尉、福山軍醫正、西山少佐、戸田軍醫、小館看護官
見學演習班 ○古屋少佐、原大尉、櫻井大尉
宣傳班 平田少佐、○林少佐、小川少佐、寺田少佐、松村大尉
閲兵分列班 ○河邊中佐、山内少佐、菅波大尉、小田島少佐、古屋少佐
庶務班 西川大尉、○菅波大尉、平山少佐、柳本大尉
見學演習指導兼接待班 ○平山少佐、三木主計正
宿營給量班 日吉主計、三木主計正

尙軍の外統監部に屬するは古川鐵道出張所次長、大原地委議長、稻川新京驛長、全朝鮮人民會長、關東局の井上摩潔兩氏、黒淵電々出張所長、中村遞信局長、滿鐵の松尾、高山、金澤、電々の水野の四氏、大使館上砂氏、廣石新京署長、滿鐵武田事務所長、稻葉庶務主任、塚本醫院長、四戸鄕軍聯合會分會長、東田萬次郎、岡本部員消防隊橋國三一、滿鐵野村社員主事、高木防空協會主事、關東局佐々木氏、鄕軍分會岩坂副會長、小澤隊長代表滿洲國側から秘書處佐藤、情報處宮脇、大同學院中原、民政部清水、栗原、岡本、林、長尾、大嶋、高木、植田、平野、黒井、武井、竹内、木山の諸氏、實業部將俊、交通部荒木、首都警察廳谷口、吉木兩氏、鐵路局山領氏等が參加する、右諸氏の多くは聯合防護團關係の人々で兼務である

防衛司令部

防衛司令官 佐野少將
參謀長 河邊中佐
參謀作戰主任 平田少佐
同 情報主任 古屋少佐
副官 平山少佐
同 西川大尉
司令部付 木原大尉、原大尉、太田大尉、神津大尉、日吉主計

新京防衛司令部は幕僚を率ひ地上防空隊本部、新京警備隊防空飛行隊、地上防空監視隊本部、防空通信隊に命令、地上防空隊本部は高射砲隊、照空隊、高射機關銃隊、地上防空監視隊本部は防空監視哨と聯絡す

實戰宛ら壯烈！ あすの見學演習

午前十時廿分から展開

待たるゝ見學演習はいよ〳〵明十日午前十時廿分から寛城子飛行場を中心に國都の上空で行はれる、この日五十瓩および十五瓩の實彈爆撃投下とゝもに五十余機編隊の壯烈極まる空中爆撃戰を展開、實戰宛らに混戰亂闘を演ずるであらうと多大の興味を以て見られてゐる、特定見學者としては陸海軍部高等官、勅任特任官その他、一般見學者としては市内各學校九千余名を筆頭に、滿洲國關係、沿線谷地、在鄕軍人滿鐵社員會、各佛教團、婦人團体その他、このほか日滿軍隊、警察官ら總計三萬を突破大盛況を豫想されてゐる、なほ當日見學者の混雜を防ぐため特定見學者、日滿軍警見學者、一般見學者の往路（歸路は往路に同じ）を豫め指定され一般見學者は寛城子踏切を渡つて左折、飛行隊專用道路を通らず、眞直ぐ寛城子道路を直行して飛行隊北側から飛行場に入ることになつてゐるが踏切の混雜を豫想されるのでなるだけ早く七時乃至八時半までに所定の位置につくことゝなつてゐるかくて同十一時終了の豫定である

敵味方飛行機の見分け方

假想敵の飛行機はそのまゝ、新京防衛軍の飛行機は赤の吹流しを附す、演習統監部の飛行機は機の支柱に白布を附してある

氣狂ひ陽氣 親指大の雹降る

九日の日曜は朝から快晴にて家族會や運動會で西公園や大同公園その他到る處わきかへるやうな人出であつたが午前十一時過ぎ一大暗雲にとざされると見る間に雷鳴と共に親指大の降雹があり滿都の人々を驚かせた、右につき新京觀測所では語る

降雹は珍らしくないが本年は始めてだ昨年は六月に二回あつた、雹の降る場合は上昇氣流の旺盛な時必ず雷鳴に伴つて起るものである只今低氣壓は新京からハルビンにかけて停滯してゐるのでこの低氣壓が通過するまでぐずついた天氣で今日一杯は驟雨模樣である、霽れゝば本格的の夏に入るが六月は雨は多い見込みで先づ旱魃の憂はなからう

◇……市民を驚かした雹……◇

輝やく團旗の授與式けふ終る

引續き市中を大行進

榮えある新京聯合防護團の團旗授與式はいよ〳〵けふ九日佐野統監臨場のもとに盛大に擧行された、この日武田聯合團長以下聯合本部、附屬地區並に特別市地區本部係員を始め附屬地域内の各分團員らいづれも新調の團服姿或は未だ團服の整はないものは出來るだけ輕裝で隊伍堂々西公園に繰込み、附屬地側は午後三時まで、特別市側は三時半まで集合、やがて定刻四時統監佐野少將臨場すれば三千余名の全員緊張裡に武田聯合團長の指揮で一同敬禮、ついで佐野統監から武田團長に委囑狀を授與、引續き輝やく團旗が授與され右終つて佐野統監の訓示があり終始嚴肅裡に授與式は滯りなく終了した、なほそれより全員參加の下に團旗を押し立てゝ市中行進がなされ夕刻六時頃解散の見込である

防空演習基金に 山口氏寄附

錦町三ノ七錦ビル主人山口正太氏は防空演習基金として九日本社を通じ金二十圓を寄附した

カフエー女給の性の惡い美人局

滿洲國高級職員さん〴〵

現在新京附屬地内のカフエーは五十軒に上りこゝに働いてゐる女給の數は五百名を算してゐる、之ら女給の固定給は極く些細なもので白粉代にも足らず殆んどチップによつて生計を立てゝゐるものが多い從つてその收入の多寡は手腕の如何によるので中には家庭の事情などから當局の眼を晦して社會に害毒を流してゐる不良女給が相當多いやうである、最近新京署で調査したところによると内縁關係を結んで通勤してゐる女給にこの種不良が多い、目下取調べてゐる柳町京子（假名）は數日前滿洲國某官廳の高級官吏がカフエーに來たのを幸ひ所持してゐたメダルを自宅に持ち歸り翌日某氏がそれをとりかへすべく柳町の宅を訪れると柳町はさも獨身なるが如く裝ひ媚をもつて某氏を長居させその中いつの間にか一人の男が現はれ「俺の不在中家内と密會するとは怪しからん」と大亂闘を演じ某氏はさんざんな目にあはされたが自己の面子から表面化するを恐れ現金百圓を握らせて逃げ歸つたものである、これ等は惡辣なる美人局で當局は徹底的取調べの上嚴重處斷する筈である

松山代議士 小崎牧師 來京講演

衆議院議員松山信介氏は八日午後五時三十分着あじあで東京靈南坂教會牧師小崎道雄氏と同道來京したが九日午前十時から日本橋通り大信洋行階上日本組合キリスト教會で小崎氏の日曜禮拜講演あり、午後七時三十分から同大信洋行で松山代議士を中心に信仰座談會を開催する

簡易保險證書を落した方に

四月十五日頃新京特別市北安路々上に於て簡易保險證書滿第一六五五二一號額面百十二圓五十錢原口軍次名義のもの一枚を新京署員が拾得刑事室にて保管してある心當りのものは至急申出られたいと

井上香木氏 送別會盛會

前新京神社々司井上香木氏送別會は八日午後六時半から公會堂階上第一會議室で開かれたが主人側出席七十五名、開宴に先立ち主人側を代表して武田地方事務所長挨拶を述べ井上氏の謝辭があり杯をあげて觀福を交はし歡談八時頃散會した、因に井上氏の離京は未だ日時が決つて居らぬ

けふ早慶二回戰

早慶野球第二回戰は九日午後二時卅五分から絶好のコンディションの神宮球場で天沼（球）關口、長澤、野本（壘）四審判の下に早大の先攻で開始された兩軍のバッテリー左の如し

慶應 土井—櫻井
早大 若原—鵜飼

午後三時半までの成績

慶 0004
早 3000

滿洲國優勢 第三回日滿庭球 豪雨で中止

日滿庭球部主催本社後援の第三回日滿對抗軟式庭球大會は九日午前十時西公園コートで前年優勝日軍の入場ついで滿洲軍の入場式があり兩軍主將により日滿國旗の掲揚、韓會長代理上田總務司長の開會の辭終つて日軍中村主將の優勝カップ返還、つゞいて同三十分滿洲軍堀井、平島、日軍韓岸組によつて試合は花々しく開始された、この日朝來絶好の天候に惠れ申分のない庭球日和だと思つたが第三組試合三セットに入るや降雨襲來し大會は遂に中止となつた二組までの成績左の如くである

滿洲國軍 日軍
（堀井 平島）四—二（韓 岸）
（石田 藤澤）四—一（村上 山下）

天氣と氣温

明日の天氣 西寄の風晴驟雨模樣
日の出 午前三時五十六分
日の入 午後七時二十分
月の出 午前〇時卅三分
月の入
けふの氣温 高 廿二・三 低 十一度八

新撰爆笑隊

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畵

(上映禁止)

現代篇 一〇九 イット・それは?(五)

脇坂は洋菓子らしい紙函包みを抱へた三田が、無理に麻雀まで思ひ出して横丁へ反れた後姿をにやりと見送り、アパートへ急いだのであつた。……三田稲太郎の名刺を貼つた部屋には朝からの來客百合江の他に脇坂夫人も加はつて、常主の不在をわがもの顔に相知してゐる。

金のグラスに花びら入れて
酒で溶かして唇つけりや
香にほんのり戀の味
淡い甘さの戀の味

ジャズのリズムにほろ醉ひ心
粋なポップの娘と踊りや
ヘリオトロープが眼に沁みる
ほんに溺しや眼に沁みる

そこへひよッこり駿吉が首を出

「つまんないことを訊くもんぢやないわ。」

「モチ、私なら斷然洋菓子。—」

「O・K! 私もさうよ。」

「はゝゝ、ひどい目に逢ふナ、稲公早く來ればいゝのに……」

果して間もなく三田は迂廻して歸つて來が意外な人聲の賑やかさに怪訝の面色で、自分の部屋にノックして内部の形勢を窺つた。

「どなた? お入んなさい。—」

—かも知れないわ、乾度—」

と、今度は百合江が主婦氣取りで、次の小部屋の扉の方へ行つた

「矢張左様なのね。—あんた何處をうろついてたの? さア、遠慮しないでお入んなさいよ。」

「ヘッ、自分のお金を出してる部屋へ、遠慮なんかする奴があるもんか。—お客様?。」

したので綾子は入口へ寄つて來て彼の手を握り、

「お歸んなさい、—今日も平日よか一汽車早かつたのね。」

と浦和の自宅にゐるやうなことをいつた。

「あら、お一人—三田さんは?」

「うん、麻雀の先約があるつて何處かへ行つちまつた。」

「ひどいのね、私の來てること知つてる癖に……隨分だわ。」

百合江は憤慨し切れない。

「いや、先生は僕を途中で撒く心算で、いゝ加減な用を拵えたんだよ。—十分經たない間に乾度歸つてくる。」

「ほんと? それぢや駿さんのきてるのもしらないのね。」

「うん、僕だつてこの近所に用事に來ることになつてるのさ。—先生、今日は君を獨占めの氣で、洋菓子を奮發してるやうだ。」

「左様、早く來ればいゝのに……」

「何が?」

「えゝ、珍客よ。」

「誰だい。」

と本部屋へ入つて見れば馬鹿々々しい。

「なアんだ。—駿さん、人が悪いぜ。」

「何いつてんだい、君こそ水臭いぢやないか。」

「まアいゝさ、左様いふことなら今日は斷然プログラムを變更して、大いに懇親會をやらう。」

「いや、それぢや申譯ない。—駿ちやん、僕等は邪魔のやうだから失敬しようか。」

「左様ね、折角仕組んだプログラムを滅茶々々にしてはお氣の毒みたいだわ。ねえ、三田さん—どんなプログラムなの?」

「そんなに二人して責めるもんぢやないわ。」

と百合江の助太刀も開拾にならないので、脇坂は更に冷評した。

「ようく、御兩人!」

「とつちが御神人だい。—隣は辛いぞオ……」

日頃の隣者も詮方地がない。

運動

滿倶勝つ 對大連實業

【大連國通】全滿野球ファン待望の大連實業對滿倶定期爭覇の第一戰は八日午後四時より滿倶球場に井口(球)川久保、尾崎、小島(壘)四氏審判の下に大連實業の先攻に開始五十嵐の好投により3A對0で滿倶勝つ、閉戰五時五十五分兩軍バッテリー及成績左の如し

大連實業 野田、岩瀬—渡邊、野田
滿倶 五十嵐—三浦

滿倶	0	0	1	0	0	0	0	2	A	3A
大實	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ブタペスト派遣 陸上選手決定

【東京國通】日本學生陸上競技聯盟では六日のブタペスト遠征代表選手決定の第二次豫選終了後陸聯事務所に於て技術委員會を開催、選手十名、補缺五名を決定、七日總務委員會の協賛を經て午後四時左の如く發表した

△正選手 田島直人(京大)村上正(早大)西田修平(早大出身)田中秀雄(中大)原田正夫(京大)大江季雄(慶大)谷口睦生(關大)田中弘(早大)鈴木聞多(慶大)朝隈善郎(明大)

△補缺選手 長尾三郎(關大)青地球磨男(立大)市原正雄(立命館大)村社講平(中大)菊本耕作(文理大)

尚ブタペストに開催される國際學生競技陸上選手權大會は八月開催の豫定である

全米オープンゴルフ選手權大會 六日から擧行

【ピッツバーグ五日發國通】全米オープンゴルフ選手權大會は愈々六日より八日迄三日間に亘りオークランドに擧行され、日本ゴルフ協會派遣の安田、淺見、中村、陳、宮本、戸田の六選手も參加するが、第一回戰に宮本選手は世界一流選手ウオルター・ヘーゲン君と組合はされるに決定した、同大會にはウオルター、ヘーゲン君の外にもトミー、アーマー、デニー、シュート、フランク、ウオルシュ、チックエバンスの諸君以下米國切つての名手連が轡を並べて出陣して居り、南アフリカ選手權保持者フルース君も遠く馳せ參じてゐる有樣だから、日本選手に優勝の見込みは極めて乏しいとしてもその活躍は期待されてゐる

デ杯第二回戰 山岸、西村敗退

【プラーグ六日發國通】デ杯歐洲ゾーン第二回戰日本對チエツコスロヴアキアの試合は六日午後プラーグに於て擧行山岸君はツアスカ君と、西村君は強豪メンツエル君と對戰兩選手とも必死の健鬪振りを示したが戰利あらず何れもストレートで敗退した、第二日ダブルス試合に於て一勝してもシングルス戰に於て山岸君がメンツエル君を破る事は相當困難と觀られるから日本軍の勝利は望み薄と豫想される第一日シングルス試合スコア左の如し

ツアスカ 6—1、8—6、6—3 山岸
メンツエル 6—2、6—3、8—6 西村

ラヂオ

六月十日(月曜)新京

午前之部

六、〇〇 建國體操(滿語)
六、一五 ラヂオ體操(大連)
引續き 入港船の御知らせ(大連)
六、三〇 初等滿語講座(大連) 講師 秩父固太郎
七、〇〇 初等日語講座(奉天) 講師 近藤喜助
七、二二 朝の音樂(大連)
一、三重奏 第七番變ホ長調 モーツアルト作曲 レベッカクラーク外
二、オルガンと管絃樂の爲の協奏曲ニ長調 モーツアルト作曲 倫敦交響管絃樂團 指揮ハミトンハーティ
八、三〇 經濟市況(東京)
九、四〇 經濟市況(大連)
一〇、一〇 防空見學演習實況 ‖新京飛行隊飛行場より中繼‖
一〇、四〇 經濟市況(東京)
一〇、五九 時報(東京)
一一、〇一 經濟市況(東京及大連)
一一、四〇 ニュース(東京)

午後之部

〇、〇一 經濟市況(大連、引續新京)
〇、二〇 ニュース(滿語)
〇、三〇 建國體操(滿語)
〇、五〇 ニュース
二、〇〇 經濟市況(大連)
引續き 日用品値段(滿語)
二、二〇 通俗時事解說「終講」滿日爲替安定問題 大同社記者 唐新我
二、四〇 演藝(レコード)(滿語)
二、五〇 經濟市況(東京)
三、〇〇 ニュース(東京)
三、三〇 經濟市況(大連、引續新京)
三、五〇 ニュース
四、三〇 ニュース(鮮語)
四、四〇 演藝(鮮語)
四、五〇 ニュース(英語)
五、〇〇 子供の時間(哈爾濱)
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 政府公報(滿語)
六、三〇 國民防空講座「第十三講」防空演習に就て 新京警備司令官 陸軍少將 佐野光信
七、〇〇 レコード
七、一〇 詩吟(東京) 山田積善
一、寄家兒言志 廣瀬武夫作
二、歸大使に贈る 雲井龍雄作
三、有感 山崎闇齋作
四、片瀬偶感 松村介石作
七、二五 明笛(大阪) 鶴谷眞太郎
伴奏(マンドリン 富田鏡子 ギター 富田勇吉)
一、詩吟
二、傾白き富士の根
三、青葉しげれる
四、兒島高德
五、天然の美
六、螢の光
七、旅から旅
八、旅愁
七、四〇 新勞働歌(大阪) 獨唱 金森愛子 獨唱 水野康孝 ピアノ伴奏 武澤武
一、渡るそよ風 奈加敬三作詞 内田元作曲
二、逍遙歌 弘田龍太郎作曲
三、空が晴れたなら 富志邦三作詞 内田元作曲
四、希望の朝 池永治雄作詞 林亘作曲
五、職場の歌 吉川則日古作詞 内田元作曲
七、五五 浪花節(東京) 原嚴作 片羽鳥伊太郎 鶴甲齋虎一丸
八、三〇 時報、ニュース(東京)
八、四五 ニュース、經濟市況
引續き 氣象通報、番組豫告
九、〇〇 書鬪(哈爾濱) 黄鶴樓 公餘會賢社票友
一〇、〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾濱)
一、講演 歐洲に於けるウクライナ人
二、詩の朗讀 グリゴール
三、ニュース

居住消息

▲林寛氏(島根縣)ハルビンから山吹町山吹寮へ
▲林節男氏(福井縣)ハルビンから建設事務所へ
▲佐藤新次郎氏(宮城縣)同
▲佐伯萬次郎氏(山口縣)東三條通り四十四番地へ
▲板垣貞次氏(東京府)同

轉居

▲野吾金次郎氏朝日通りから富山縣へ
▲上川廣三郎氏入船町から朝日通り十六番地へ
▲佐伯芳雄氏興安大路から東三條通り四十四番地へ
▲玉塚熊藏氏山吹町から露月町一丁目四番地へ
▲吉森美春氏入船町から室町四丁目鐵道從業員宿舍へ
▲川口漸氏祝町から北安南胡同八百十四號へ

出生

▲泉倪氏(鐵道西三宅方)長女美智子さん二十七日出生
▲吉井彪雄氏(三笠町三丁目五番地)次男壽之さん三十日出生

六月十日 月曜 丁巳 友引 閉 危宿

●一白の人 歩調正しければ暴ふ彼岸に達し得らるべし 乙と丙と戌が吉
●二黒の人 健實味を欠く時は目上に見離さることあり 丙と丁と庚が吉
●三碧の人 投機心を起さず空想に耽らず常業大切の日 乙と辛と戌が吉
●四綠の人 眞面目に働けば追はずとも貧乏神は逃出す 甲と乙と戌が吉
●五黄の人 目上の者に疎まれ易き日謙遜が第一と知れ 午と丁と未が吉
●六白の人 急速の發展を望まず自重險忍すれば萬事吉 辰と丁と寅が吉
●七赤の人 不安に襲たるゝとも志を變へぬ樣にすべし 甲と辰と辛が吉
●八白の人 氣分軟弱に陥り易き日無理をすれば損失す 丙と庚と壬が吉
●九紫の人 眼前神佛の慈光に浴する樣な心地ある吉日 未と戌と癸が吉